

# 泉だより

IZUMI・DAYORI



2020.3.1 VOL.39

発行元



社会福祉法人 泉学園  
Social welfare corporation IZUMIGAKUEN

〒702-8026 岡山市南区浦安本町190番地  
TEL (086) 264-2882

発行人 岡崎 イツヨ



(巻頭言)

泉学園 30周年をまえに

泉学園共同生活援助事業所 管理者 名越 宗一

平成から令和にかわり初めての日、職員を誘いジョギングを兼ねて初日の出を拝みに行きました。待つこと数十分、汗で身体が冷えた頃やっと顔をのぞかせた初日の出に今年一年をお願いしました。さて泉学園は今年7月で法人設立30周年を迎えることになりました。30年の道のりを長きにわたり見守って下さいましたご利用者、ご家族並びに関係者の皆様方に深く感謝を申し上げます。

平成2年法人認可の翌年4月、最初の事業所泉の園がオープンしました。真っ白なキャンバスに最初の色をつける、そうした作業にときめきややりがいを感じながら働いていたあの頃が懐かしく思い出されます。ご利用者の皆さんは支援学校卒業後の方が多く、支援員も新卒者が半分以上という若さあふれる泉の園でした。裏庭の敷地にビニールハウスを建て花の苗を育てたりポリ袋の製造を行ったたり、田植えや稲刈りを行ったりもしました。家族会活動日には園庭に桜の木を植えて頂いたり、休日返上でご父兄の方々と汗まみれになりながら藤棚をこしらえたり・・・あつという間の30年でした。

平成の30年間で情報・通信機器が急速に進化をとげ、我々の生活は格段に便利になりました。しかしながら失われたものも多いのではないかと思います。人と人とのつながりやコミュニケーションは希薄になり、人が大人になる過程で身につけていく「こころ」の成長がなされにくくなったように感じます。令和は失ったものにも目を向け、もう一度取り戻していける時代であってほしいと願います。

泉学園も平成と共に歩んできました。この30年岡崎治広前理事長が掲げられた「一人ひとりみんな主人公」をいつも基本にすえて事業を進めてまいりました。そして時代に感わされることなく「こころ」を大切に考えてきたように思います。令和の時代になって「こころ」の成長がどの現場でも実践される、そうした泉学園であり続けたいと思っています。最後になりましたが、オリンピックキヤーの今秋には30周年の記念式典を行う予定です。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

## ネイチャーファーム

「お客様一人ひとりが宣伝部長！」



「俺らONE TEAMじゃから！」  
 と言ってくれる彼らを支えてくれているのは、温かく見守って下さる地域の方々、そしてお客様の存在であります。

生産直売している以上、売り逃げはできないこと、自然に左右されながらも品質の良い花づくりを追求することは心身共に気が抜けない仕事ではありますが、「この花はきれいに咲いて長持ちしたんよね」と半年ほど経って訪れたださるお客様の声に、思わず満足気な表情をする従業員の顔をみると私自身も密かにガッツポーズをしながら報われる思いがする瞬間だといつも感じています。

福祉の恩恵に依存した花づくり



花工房を任されて、早14年が経ちました。A型事業所としての運営は正直厳しいもので、従業員の支援は大前提の下、限られた人員体制、常に収支状況とにらめっこの中、お客様に喜んでいただける品質の良い花づくりを求められる立ち位置で日々取り組んでいます。起床するなり天気予報を確認し、苗の生育具合、運営状況に一喜一憂を繰り返す日々ですが、いつでも原動力となっているのは、共に取り組んでくれる従業員の存在です。自然と対峙し体力的にも過酷な作業ですが、いつも大なり小なりの笑い声が聞こえる作業場、お互いの行動や言動に突っ込み合う関係、最も身近な良き理解者であり、頼り頼られる相談相手であり、最近では職員が叱咤激励を受けることもしばしば…。



お客様には感謝に尽きます。

日頃から目にされる植え込みや庭などで咲いている花は、



もしかしたらそれはネイチャーファームの花かも知れませんよ。

従業員一人ひとりが丹精込めて作った花がお客様の元で綺麗に咲いてくれることが何よりの励みであり、大きな宣伝効果になると思っています。そして喜んで頂けるお客様の輪がどんどん広がるのが従業員の自信となり、花づくりへのプライドに繋がっていきと思えます。花のことなら、とりあえず相談してもらえば何とかお応えできると思っています。

是非、ネイチャーファームの花を手にとり取って頂き、お客様一人ひとりが宣伝部長となって頂ければ大変ありがたいです。

(中島 理恵)



## 障がい者デイセンター さくら

「デイセンターさくらもちつき大会」

2010年から、さくらでご利用者と支援員だけの餅つきが始まり、2015年からは近隣住民の方々とのふれあいと日頃の感謝の意味も込めて「地域交流餅つき大会」として開催することになりました。参加された子ども会や地



域の方々の中には餅つきは初めてという方も多く、大変喜ばれています。また、福浜公民館の方も参加して下さり「福浜公民館だより」にも餅つきの様子を掲載して頂きました。

ネイチャーファームのパンやさくら手芸品・クッキー・パウンドケーキ・焼きドーナツ、カフェのみ木の食事券など豪華賞品が当たるくじ引きもイベントの目玉の一つとなっております、大変好評を頂いています。



泉学園、さくら関係者、そして地域のみなさんが一体となつて一つの事をやり遂げる「地域交流餅つき大会」は定着してきているように感じます。今では総勢100名を超える盛大なイベントとなり、我々も地域交流の醍醐味を感じる事ができる大切な行事として捉えるようになりました。福富西の町内会長様から「地域を巻き込み地域全体で餅つきをしている町内はないよ」と話して下さり、私自身も貴重な取り組みだと感じています。町内会長様より臼2基・杵2本、さくら家族会から蒸し器・ぼんじゅうを寄贈して頂き、ご家族の方にも臼の台の補強修理や新しい台の寄贈をして頂きました。もちつき大会を重ねるごとにさくらと地域の方との距離感が近くなっているように感じます。

これからも末永く続く行事として、ご利用者やご家族、そして地域の方々やボランティアの力をお借りしながら取り組んでいきたいと思っております。

(丸山 忠彦)

## デイセンター はずな

「つながり」

岡山駅前イオンモールが開店した年の平成26年の秋、イオン社会福祉基金の皆様方からリフト車を頂きました。岡山では初めてのことでした。その車は今も毎日、利用者の方の送迎や外出に大いに利用させて頂いています。



この年から『クリスマス会』や『新成人を祝う会』にお声掛けさせて頂くようになり、たくさんのお菓子のプレゼントやお祝いの言葉を頂くなどのつながりができました。また、そのご縁からイオン



(小林 三重子)

の『幸せの黄色いレシートキャンペーン』にも参加するようになり、毎月11日には1〜2名の利用者の方が外出を兼ねて店頭活動に出掛け、外食や買い物を楽しむことができています。キャンペーンは、買い物される多くの皆様からの善意を頂いているもので、日用品や消耗品の外、家電や楽器等を購入し日中活動や日常生活に役立てています。



リフト車1台からつながったご縁ですが、様々な催しやふれあいを通して今も続いています。今後もこのご縁を大切に育んでいきたいと思う次第です。

## 桑野フレンドリーハウス

「一日社会体験」

今年の一日社会体験は、いつも一緒に過ごしているグループごと

に外出を企画しました。花・風グループはサンロード吉備路へ、鳥グループは中国山地を一望する高原にあるチロリン村でバーベキューを、月グループは岡山市北区にある招き猫美術館に行ってきました。花・風グループが出かけた総社市にあるサンロード吉備路。数日前までは雨天の日が続いていましたが、花グループの外出では、晴れ女がたくさんおられるのが当日は快晴となりました。宴会では、利用者さんがお刺身のワサビを食べてしま



い、涙を流すハプニングもありましたが、たくさん笑い、話に花を咲かせながら会席料理を堪能しました。帰りの道中、車内からは五重塔が見え「おー」と歓喜の声が上がりが大喜び。また目の前にひろがるコスモス畑を眺め秋らしさを感じることもでき、ゆったりとした楽しい一日を過ごしました。月グループが訪れた美術館では、招き猫に自ら選んだ色で絵付け体験を行いました。日頃から猫を見つけると、「にゃお」と猫の真似をしながら



触ったりするほど猫好きな利用者の方がおられ、招き猫にはどのようになれるのだろうとワクワクして出かけた美術館でしたが、ランチでのコーヒーが楽しみで目の前の招き猫よりコーヒーの確認ばかり…といった事もありました。しかし、絵付けが進んでいくと、どの利用者の方も楽しみながら色とりどりの色を選ばれ、それぞれ個性あふれる愛らしい招き猫が完成しました。手ぶらバーベキューに出かけた鳥グループは、大自然を満喫…と思いきや、お肉の焼けたおいしきや、お肉の焼けたおいしき空気とおいしいバーベキューの煙に包まれ、あつという間にお肉を完食しました。その後はのんびり景色を楽しみながら、ゆったりと過ごしました。



日々の日常から抜け出し、色々な体験ができ、一日外出。次の外出は、どこへ行きどんなことを体験しようか、利用者の方の普段とは違った一面に出会えることが今からとても楽しみです。

(山根 真紀)

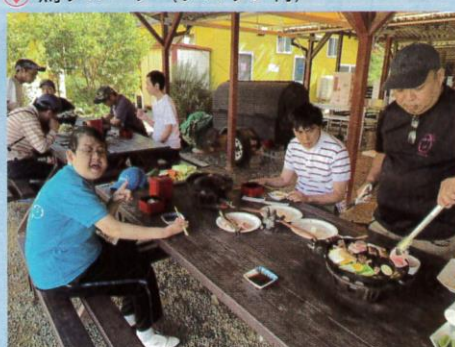
### 花・風グループ (吉備路)



### 月グループ (招き猫美術館)



### 鳥グループ (チロリン村)



## 福祉車両贈呈の御礼

イオン社会福祉基金様より福祉車両の贈呈を受け、令和元年11月20日(水)にイオン青江店で贈呈式がありました。



(名越 宗一)

## 助成金の御礼

今年度も公益信託梶谷福祉基金の助成金を頂き、11月15日・19日の2回に分け、泉の園のみんなで和気ヤクルト工場・和気鶏飼谷温泉・日本一の駄菓子売り場に一日体験旅行へ行ってきました。



ながら、普段見る事のないたくさんの機械を前にし、利用者の皆さんはとても興味深そうに眺めていました。

昼食は和気鶏飼谷温泉で会席料理を食べました。天ぷらやステーキなど様々な料理を一度に味わう事ができ、とても美味しそうに食べられていました。

最後に瀬戸内市にある日本一の駄菓子売り場へ行きました。『日本一』というだけあって、見たことのない数の駄菓子が目の前に広がり、どの駄菓子を買おうかと迷



いながら皆さん目を輝かせて選ばれていました。購入後は外のベンチに座り、駄菓子を食べてたり、お喋りを楽しんだりされていました。帰りのバスの中では『楽しかったなあ。』『お昼ご飯美味しかった。』『今度はどこに行くのかな。』といった会話が聞こえてきました。



ご支援を賜りました関係者の皆様方、本当にありがとうございます。

(川部 菜々)

## 長寿祝賀会

令和2年1月10日に泉の園で高齢のHさんの喜寿とIさんの還暦を祝う会を開催しました。記念品を贈呈し、みんなで祝い膳を食べ

てお祝いをしました。Hさんは体調を少し崩され、食堂での祝賀会には参加できませんでしたが、記念品を受け取る

と『ありがとうございます。』『笑顔で挨拶をされました。大きな

な技術もし、ここ数年は体調を崩す事が増え、入退院を繰り返す事もあるHさんですが、当日は祝膳のミキサー食をしっかりと完食

されました。また、還暦を迎えたIさんも若い頃に比べて足腰が少し弱くなりつつありますが、いつも元気いっぱい両手を上げて挨拶をしてくれ、優しい笑顔でその場の雰囲気明るくしてくださっています。還暦を迎えられた利用者さんはIさんを入れて6名となりました。

現在泉の園では入所されている方の約1割が60歳以上です。高齢化を迎えつつあり、食事や医療面でのサポートがますます必要となってくる方が増えていくと思



す。しかし、これからもできるだけ家庭と同じような雰囲気、利用者さんが笑顔で日々の生活を送れるように職員全員で精一杯サポートをしていければと思います。(中村 雅子)

## 職員の異動等について

### 【退職】

お世話になりました。今後の皆様のご活躍をお祈りいたします。

### 【泉の園】

▼杉山 秀一さん(12月15日付)

▼小松 梨穂さん(12月31日付)

▼細川 美香さん(1月31日付)

【泉学園 共同生活援助事業所】

▼河 和恵さん(1月13日付)

▼桑野フレンドリーハウス

▼大倉 廣太さん(1月15日付)

【ネイチャーファーム】

▼赤木 静子さん(11月5日付)

【デイセンターなすな瀬戸】

▼藤田 恵子さん(1月20日付)

### 【新任職員】

泉の園 生活支援員

近藤 修司 (1月22日)

至らない点もありますが、一生懸命務めていきたいと思

奈チャーファーム 職業指導員

石原 玲子 (1月1日)

奈チャーファーム 職業指導員

山田 敦子 (1月23日)

みなさんと一緒に楽しく頑張りたいと思います。

一生懸命頑張ります。

奈チャーファーム 職業指導員

山田 敦子 (1月23日)

みなさんと一緒に楽しく頑張りたいと思います。

一生懸命頑張ります。

奈チャーファーム 職業指導員

山田 敦子 (1月23日)

みなさんと一緒に楽しく頑張りたいと思います。

桑野フレンドリーハウス 支援員

岩田 純香 (1月1日)

利用者さんと元気に過ごしたいです。よろしくお願

桑野フレンドリーハウス 運転手

岡 稔 (1月25日)

よろしくお願

GH 看護師

宮本 美栄子 (1月1日)

皆さんのお役に立てるように、笑顔で頑張りますのでよろしくお願

ボランテア募集のお知らせ

泉学園では、作業や外出の付添い、室内でのレクリエーション活動等、利用者の皆さんと一緒に楽しんで参加して下さる方、あるいはご自身の特技を披露して下さる方を募集しています。(詳しくは左記まで)

泉の園

フレンドリーハウス・ワークプラザ

086-274-5160 (太田原・山根)

086-261-0047 (丸山・熊代)

086-206-6277 (廣田・沖)

086-206-6277 (廣田・沖)

086-952-9180 (間野・故倉)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)

086-271-2075 (奥名)